

常設展「岡本太郎の旅」

2021年1月28日(木)～2021年4月11日(日)



《問屋街/大阪》1957年

岡本太郎は多くの旅の中で、民族学的な視点から、日本や世界の文化とその土地に暮らす人々の生命力の源流を探りました。1957年から1966年にかけて岡本は東北から沖縄まで日本各地を巡り、その取材旅行をもとに『日本再発見—芸術風土記』や『神秘日本』『忘れられた日本（沖縄文化論）』を執筆しました。また、1963年にはメキシコに初めて訪れ、それを機に世界各地を巡った記録をエッセイ『美の世界旅行』として刊行しています。

岡本は取材先でいつも一眼レフカメラを持ち歩き、自身で撮影した膨大な写真の一部を著作に掲載しました。道行く人々や街並み、路傍の石像、祭りなど、岡本の捉えた風景は色褪せない新鮮さを持ってその土地の生命力を伝えてきます。

本展では岡本が主に取材で訪れた旅先を辿りながら、写真を中心に、同時期に制作された油彩や彫刻、取材旅行をもとに執筆した著作などを紹介します。「世界ととけあうこと、それが旅である」と述べた岡本の旅と芸術に触れていただく機会となれば幸いです。

開催概要

会場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会期：2021年1月28日(木)～4月11日(日)

主催：川崎市岡本太郎美術館

開館時間：9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日：月曜日、2月12日(金)、24日(水)

観覧料：2021年1月28日(木)～2月19日(金)

常設展のみ開催 一般 500 (400) 円、高・大学生・65歳以上 300 (240) 円

2月20日(土)～4月11日(日)

一般 700 (560) 円、高・大学生・65歳以上 500 (400) 円

※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。

※中学生以下は無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：篠原 広報担当：森近 (pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柵形 7-1-5 生田緑地内

TEL : 044-900-9898 / FAX : 044-900-9966

PRESS RELEASE

みどころ

- 太郎が“取材旅行”で撮影した写真やポートレートを軸に、同時期の作品を紹介。
- 太郎が所有していたカメラや日本各地の民芸品なども合わせて展示します。
- 企画展・常設展ともに写真撮影可能！（フラッシュ、三脚の使用は不可）



《威儀を正して挨拶し、お神酒をふるまう/秋田》1957年
ゼラチン・シルバー・プリント



《阿波おどり/徳島》1957年
ゼラチン・シルバー・プリント

主な出品作品

- 油彩** 《旅立ち》《森の掟》《千手》《訣別》など
彫刻 《子どもの樹》《河童像》《リョウラン》など
写真 《なまはげ/秋田》《阿波おどり/徳島》《鹿踊り/岩手》など
岡本太郎が撮影した日本各地の写真、メキシコ・中南米の写真、ほか
その他 岡本太郎が所有していたカメラ、レンズ、民芸品など



《旅立ち》1975年 キャンバス、油彩



《森の掟》1950年 キャンバス、油彩

関連イベント

ワンポイントトーク

当館学芸員が常設展の展示解説を行います。

日程：2月13日(土)、2月27日(土)

時間：14:00～

※イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <http://www.taromuseum.jp>